

中学校・高校教員対象夏季セミナーを開催 ～リスク管理や保険教育に関する情報を提供～

日本損害保険協会(会長:新納 啓介)は、「生活設計とリスク管理」、「社会保障制度」、「民間保険」について知識と理解を深めていただくことを目的に、公益財団法人 生命保険文化センターと共催で、中学校・高等学校の家庭科・社会科・公民科教員向けの夏季セミナーを開催しました。

本セミナーは、2006年度から毎年開催しており、第18回となる今回は、8月2日から8月4日の3日程で、全国から計137名の先生方に参加いただきました。8月2日は東京会場で社会科・公民科教員の皆様に向けて『社会保障教育における「民間保険(自助)」の役割』をテーマに、8月3日は東京会場、4日は大阪会場で、家庭科教員の皆様に向けて『くらしとリスク管理』をテーマに以下のプログラムでセミナーを実施しました。

<当日のプログラム>

10:05～11:15	基調講演『金融(保険や資産形成など)を、家庭科・公民科でどう教えるか』 神奈川大学 梶ヶ谷 穰 特任准教授
11:20～12:00	中学校・高校向け教材紹介(生命保険文化センター・日本損害保険協会)
12:45～13:25	家庭科授業実践報告『「時間」に着目してリスク管理を捉える授業』 大阪府立天王寺高等学校 谷 昌之 先生(家庭科教諭)
13:30～14:10	公民科授業実践報告『社会保障制度と民間保険に関する公民科の授業実践』 東京都立文京高等学校 石川 周子 先生(公民科教諭)
14:25～15:50	グループ別情報交換会 ※会場参加者とオンライン参加者に分かれて実施

梶ヶ谷特任准教授による基調講演では、学習指導要領解説・教科書をベースに、社会保険や民間保険、資産形成等に焦点をあて、教科ごとの教育内容のほか、教科間の連携にもアプローチした具体的な授業づくりについてお話いただきました。

教材紹介では、生命保険文化センターおよび当協会が作成している教材について活用方法等を紹介しました。当協会は、高校生向け教材「明るい未来へ TRY! ～リスクと備え～(※)」の冊子・パワーポイント・動画を組み合わせた授業展開例などを案内しました。

※高校生等を対象とした短時間で損害保険を学習できる教材 (<https://www.sonpo.or.jp/education/high/>)

受講者からは、「生命保険文化センター、日本損害保険協会提供の教材の活用や、授業実践報告で得られた観点等を今後の授業に役立てたい」、「他教科において金融や保険教育をどのように扱っているか知ることができ、勉強になった」などの感想が寄せられました。

当協会では、今後も、教育関係者等に有益な情報を提供し、損害保険リテラシーの向上に努めます。



基調講演の様子



会場参加者によるグループ別情報交換会の様子

私たちが選ぶ地球の未来・・・限りある資源を大切に使いましょう！